

# 令和4年度千葉県認知症地域支援推進員研修(新規)

## 《千葉県》認知症コーディネーター養成研修 (平成25年度～令和3年度)

【目的】専門職からの困難事例の相談対応や医療・介護等関係機関の連携体制の構築を行う人材を養成

【配置先】市町村、地域包括、認知症疾患医療センター、医療機関、介護施設等

【研修体系】講義5日間(委託先:千葉県高齢者福祉施設協会)

【受講料】無料

【養成人数】542名(R4.3.31現在)

認知症コーディネーターと認知症地域支援推進員の役割が重複している

- ①医療・介護等のネットワーク構築
- ②本人やその家族への相談支援と支援体制の構築
- ③関係機関と連携した事業の企画・調整

## 《国》認知症地域支援推進員研修

(平成30年度からすべての市町村に推進員を配置)

【目的】推進員の効果的な活動の展開に向けて、その役割を担うために必要な知識・技術の習得及び向上を図る。

【配置先】市町村、地域包括、認知症疾患医療センター等

【研修体系】新任者:講義2日間 現任者:講義2日間

(実施機関:認知症介護研究・研修東京センター)

【受講料】3万8千円

【配置人数】470名 53市町村(R3.4.1現在)

令和元年度策定「認知症施策推進大綱において、全認知症地域支援推進が新任者・現任者研修を受講することが明記された

県研修と国研修を統合

認知症地域支援推進員が受講しやすく、かつ県独自の内容を取り入れた認知症地域支援推進員研修を目指す

## 新 千葉県認知症地域支援推進員研修 (令和4年度～)

【目的】県内の推進員の効果的な活動に向けて、その役割を担うために必要な知識の習得及び向上を図る。  
また、医療・介護・福祉等の関係機関の連携の中心として機能する。

【配置先】市町村、地域包括、認知症疾患医療センター等

【研修体系】新任者:講義3日間 現任者:講義3日間(予定)

【プログラム】

1日目:県独自プログラム

(認知症コーディネーター研修を基に作成)

2日目・3日目:国研修の内容に準拠

【R4スケジュール(予定含む)】

5月・6月 県独自プログラム検討 委員会実施・決定

7月・8月 業務委託先公募

9月 委託先決定・契約

10月以降 受講者募集・研修実施

【受講料】 無料

【その他】研修実施にあたっては、国研修実施主体である認知症介護研究・研修東京センターと協議を重ねながら、国の研修と同等のものとなるよう実施していく。

# 千葉県認知症地域支援推進員研修 県独自プログラム

資料4-2

新任者研修 ねらい		認知症に関する基礎知識の習得及び認知症の人へのケアマネジメントを学び、地域資源を本人及び家族へ繋げる。	
テーマ	内容		時間
概論	県認知症施策の動向・推進員の役割の理解		40分
認知症の専門知識 (認知症の医学的知識)	脳機能、認知症の病態、病期ごとの症状		90分
	認知症の診断及び機能評価		
	中核症状の理解		
	行動・心理症状の理解、予防と改善		
	認知症の告知とリビングウィル		
認知症の人のケアマネジメント ～日常生活行動への支援～	1 認知症の人のケアマネジメントを行うための基本的技術について	対人交流への援助	90分
		アセスメントとニーズ把握	
		プランニング	
		モニタリング	
	2 必要な支援のポイント	行動・心理症状の予防と対応	
		生活支援	
家族支援	家族心理の理解と家族機能に応じた支援の実際、取り組み(若年性認知症を含む)		60分
本人中心の支援	当事者中心の支援方法(事例紹介含む)		60分
地域資源と連携体制の構築	地域資源の把握と活用方法		60分
計			400分

現任者研修 ねらい		認知症の専門的知識の習得及び地域資源と連携体制の構築について学び、より本人や家族に寄り添った支援に繋げる。	
テーマ	内容		時間
概論	県認知症施策の動向と推進員の役割の確認		40分
認知症の専門知識 (認知症の医学的知識)	症状ごとの特徴と対応方法・基礎疾患と身体合併症の管理		90分
薬物療法及び服薬管理	薬物療法と副作用の知識と対応		30分
地域資源と連携体制の構築	認知症の人を支えるネットワークづくり (災害時の地域支え合い体制づくり含む)		60分
	情報共有の方法		
	地域資源の把握と活用方法・地域連携について		100分
本人中心の支援	当事者中心の支援方法(事例紹介含む)		80分
計			400分

## 7. 研修内容

## (1) 新任者研修

厚生労働省発出の標準カリキュラムに基づき、以下のプログラム(予定)で研修を行います。なお、最終的な開始・終了時間は、受講決定後の受講関連書類送付時にお知らせいたします。

## 令和4年度 認知症地域支援推進員研修(新任者研修) プログラム(予定)

		時間	開始時間	終了時間
1 日目	オリエンテーション	10 分	10:00	10:10
	国の認知症施策の方向性と現状、推進員の位置づけと役割の理解	75 分	10:10	11:25
	休憩	15 分	11:25	11:40
	推進員同士のネットワークづくり(情報交換)	60 分	11:40	12:40
	昼休み	60 分	12:40	13:40
	推進員の実効性を上げるためのプロセス (PDCA サイクルと活動計画)	35 分	13:40	14:15
	認知症の人とその家族の地域支援体制の構築の推進 連携支援・ケアパス(講義)	40 分	14:15	14:55
	休憩	15 分	14:55	15:10
	連携支援・ケアパス(事例)	30 分	15:10	15:40
	連携支援・ケアパス(事例)	30 分	15:40	16:10
	休憩	15 分	16:10	16:25
	連携支援・ケアパス(グループワークと全体討論)	95 分	16:25	18:00
2 日目	認知症の人とその家族の地域支援体制の構築の推進 支援体制構築(講義)	40 分	9:30	10:10
	休憩	10 分	10:10	10:20
	支援体制構築(事例)	30 分	10:20	10:50
	支援体制構築(事例)	30 分	10:50	11:20
	休憩	15 分	11:20	11:35
	支援体制構築(グループワークと全体討論)	75 分	11:35	12:50
	昼休み	60 分	12:50	13:50
	課題の整理と活動計画の作成、活動成果の確認方法 *グループワークを含む *途中 15 分休憩有	120 分	13:50	15:50
	修了式	10 分	15:50	16:00

## (2) 現任者研修

以下のプログラムで研修を行う予定です。最終的な開始・終了時間は、受講決定後の受講関連書類送付時にお知らせいたします。

### 令和4年度 認知症地域支援推進員研修(現任者研修) プログラム(予定)

		時間	開始時間	終了時間
1 日目	オリエンテーション	10 分	10:00	10:10
	I.認知症施策の動向と推進員の役割の確認	70 分	10:10	11:20
	II.活動成果の確認と共有 * [わたしの活動 PR シート]をもとに 1. 活動の自己確認	20 分	11:20	11:40
	昼休み	60 分	11:40	12:40
	II.活動成果の確認と共有 * [わたしの活動 PR シート]をもとに 2. グループワーク	80 分	12:40	14:00
	休憩	15 分	14:00	14:15
	III.成果を生み出すための工夫と実際 実践報告 1 グループワーク・全体討議	75 分	14:15	15:30
	休憩	15 分	15:30	15:45
	III.成果を生み出すための工夫と実際 実践報告 2 グループワーク・全体討議	105 分	15:45	17:30
2 日目	IV.自地域の課題の整理と解消に向けた具体策の検討	70 分	9:30	10:40
	休憩	15 分	10:40	10:55
	IV.自地域の課題の整理と解消に向けた具体策の検討	60 分	10:55	11:55
	昼休み	60 分	11:55	12:55
	V.活動計画の立案・共有	75 分	12:55	14:10
	休憩	15 分	14:10	14:25
	V.活動計画の全体共有・発信	80 分	14:25	15:45
	修了式	15 分	15:45	16:00

課目		内容		時間	形式	日程
概論	コーディネーター概論	事前学習			演習	第1日目 (5時間)
		理念		180分	講義 演習GW	
		制度のねらい				
		コーディネーターの役割				
		スーパービジョン		120分	講義演習GW	
医療との関係	認知症の専門知識 (認知症の医学的知識)	脳機能、認知症の病態、病期ごとの症状		180分	講義 演習(症例 検討グループ ワーク 等)	第2日目 (5時間)
		認知症の診断及び機能評価				
		中核症状の理解				
		行動・心理症状の理解、予防と改善				
		認知症の告知とリビングウィル				
		基礎疾患と身体合併症の管理				
	日常の健康管理とリハビリテーション	日常の健康管理		120分	講義 演習 GW	
		非薬物療法				
		認知症予防の考え方、脳活性化リハビリテーション				
	薬物療法及び服薬管理	薬物療法と副作用の知識と対応		120分	講義 演習 GW	
服薬状況と多職種協働による服薬指導						
摂食・嚥下及び口腔ケア	嚥下の仕組みと口腔ケアの重要性及び摂食嚥下リハ(連携の視点を含む)		60分	講義 演習	第2日目 (1時間)	
生活支援	認知症の人のケアマネジメント ～日常生活行動への支援～	1 認知症の人のケアマネジメント行うための基本的技術について	対人交流への援助	180分	講義 演習 GW	第4日目 (5時間)
			アセスメントとニーズ把握			
			プランニング			
			モニタリング			
		2 必要な支援のポイント	行動・心理症状の予防と対応			
	生活支援					
	家族支援	家族心理の理解(若年性認知症を含む)		120分	講義 演習 GW	
家族機能に応じた支援の実際、取り組み						
若年性認知症の支援						
高齢者の虐待と権利擁護						
連携のあり方	地域資源と連携体制の構築	地域資源の把握と活用		210分	講義 演習 GW	第3日目 (3時間半)
		認知症の人を支えるネットワークづくり(災害時の地域支え合い体制づくり含む)				
		情報共有の方法		120分	講義 演習	第5日目 (5時間)
認知症コーディネーターとして活動するために(実践編)		180分	講義 演習 GW			

(希望者のみ)

時間数：26.5時間（5日） 1日平均5時間程度（オリエンテーション・休憩別）

	施設見学		認知症疾患医療センター	半日		
--	------	--	-------------	----	--	--